

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

奥州市長 倉成 淳

市町村名 (市町村コード)	岩手県奥州市 03215
地域名 (農林業センサスにおける地域内農業集落名)	江刺 米里地区 (下町、上町、荒町、荒谷、下大内沢、笹野田、上大内沢、野里、中沢、中郡、二股、木細工、大野、金山沢、兄和田、北野、下川辺、砂子沢、大谷地)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月5日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・一部基盤整備が行われているものの未整備圃場が多くを占めていることから、生産性の効率化・低コスト化に限りがある。

・農業従事者の年齢上昇により離農・規模縮小が進んでおり、農地集積を進める個人担い手も飽和状態となっている。

・高収益作物(野菜・果樹)については、年齢や労働力不足といった面から規模拡大が難しいほか、取り組める法業者が限られている。

・平坦部や他地域に人口が流出しており、人口の減少に伴い農地・生活環境・地域コミュニティの維持が困難となってきている。

・有害鳥獣(クマ、シカ、イノシシなど)による農作物被害が増加している。

・農畜産物の価格低迷と生産費の上昇により農業所得の低下しており、再生産価格が確保できていない。

【地域の基礎的データ】

・法人:2法人、集落営農組織:1組織、個人担い手:16経営体

・主な生産品目…水稻、野菜(トマト、きゅうり)、りんご、肉用牛(繁殖・肥育) など

(2) 地域における農業の将来の在り方

維持可能な地区の選定を進め、可能な限り維持していくことはもちろんだが、多彩な農作物を生産している米里だからこそできる取り組み(農業従事者育成の場所にする、地域内で雇用者をシェアするなど)を検討したい。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	957.9 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	957.9 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

今回は、地域計画の目標年度である令和12年の農地利用状況までを把握した。今後、利用農地とそうでない農地の区分け等を進める必要がある。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
(2)農地中間管理機構の活用方針
(3)基盤整備事業への取組方針
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
米里の未来ビジョンを明確化することが必要だと考える。次年度は地域の若手で検討会を開催し、ビジョンを明確にしていきたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--